

令和7年度 東京都立日比谷高等学校学校運営連絡協議会実施報告書

I 組織

- (1) 東京都立日比谷高等学校 学校運営連絡協議会
開催方法：対面式会議
- (2) 事務局の構成
主幹教諭（教務主任兼務）＝事務局長、主任教諭1名、広報担当教諭1名 計3名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画室長、教務部主任、生活指導部主任、進路指導部主任
グローバル事業部主任、教諭（書記）、広報担当教諭 計9名
- (4) 協議委員の構成
保護者代表1名、地域代表1名、近隣中学校代表1名、関係機関代表3名、
学識経験者2名、民間企業1名 計9名

II 令和7年度学校運営連絡協議会の概要

(1) 第1回

日時：令和7年5月23日（金）午後3時30分～5時00分
場所：本校会議室
司会：副校長
記録：事務局員

<議 事>

- 1 校長挨拶 校 長
協議委員委嘱及び評価委員委嘱
- 2 委員紹介
- 3 防災教育推進委員会及び宿泊防災訓練実施要領 副校長
- 4 意見交換
- 5 学校の教育活動の現状について 校 長
令和7年度学校経営計画を踏まえて
- 6 令和6年度学校運営連絡協議会(報告) 事務局
- 7 令和7年度自律経営推進予算について 経営企画室長
- 8 学校概況の報告及び協議
① 教務部 教務部主任
② 生活指導部 生活指導部主任
③ 進路指導部 進路指導部主任
④ グローバル事業部の取組 グローバル事業部主任
- 9 意見交換

(2) 第2回

日 時：令和7年10月24日（金） 午後3時30分～午後5時00分
場 所：本校会議室
開催方法：対面式会議
司 会：副校長
記 録：事務局員

<議 事>

- 1 校長挨拶 校 長
- 2 防災教育推進委員会 副校長
- 3 学校概況の報告及び協議
① 学校施設・自律経営推進予算等について 経営企画室長
② 教務部 教務部主任
・令和8年度入学者選抜について
③ 生活指導部 生活指導部主任
・行事・生徒会について ・生活指導について
④ 進路指導部 進路指導部主任
・大学入学共通テストの出願について ・3年生の動向
⑤ グローバル事業部の取組について グローバル事業部主任
- 4 意見交換
- 5 令和7年度学校評価アンケートについて 副校長
アンケート内容と日程の検討

(3) 第3回

日 時：令和8年3月3日（火）午後3時30分から午後5時00分

場 所：本校会議室

開催方法：対面式会議

司 会：副校長

記 録：事務局員

<議 事>

- 1 校長挨拶 校 長
- 2 報告 本校の現状と取り組み
- ① 教務部 教務主任
 - ・令和8年度入学選抜について
- ② 生活指導部 生活指導主任
 - ・在校生近況報告
- ③ 進路指導部 進路指導主任
 - ・令和8年度大学入試結果中間報告
- ④ グローバル事業部の取組 グローバル事業部主任
 - ・事業報告と来年度に向けて
- ⑤ 星陵セミナーについて 副校長
- 3 意見交換
- 4 協議 令和7年度学校評価アンケート結果について
- ① 評価委員会報告 評価委員会 事務局
- ② 協議
- 5 協議委員評価アンケートについて
- 6 事務連絡

(4) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他

第1回 令和7年10月9日（木）午後2時00分から午後3時30分

内部委員 2名、協議委員 1名

学校評価案アンケート「生徒」「保護者」「教職員」「自由記述」
Teams 及び Classi によるオンラインにより実施する。

第2回 令和8年2月12日（木）午後2時00分から午後3時00分

内部委員 2名、協議委員 1名

学校評価案アンケート「集計結果、分析・検証結果」（案）の質疑、協議、提言

Ⅲ 学校運営連絡協議会による学校評価

(1) 学校評価の観点及び主な評価項目

- ・学校経営 ・学校生活全般 ・学習指導 ・進路指導 ・生活指導
- ・学校行事 ・部活動 ・グローバル事業 ・防災教育 ・読書指導
- ・学習時間 ・ワークライフバランス

(2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

- ・オンラインにより実施
- ・11月 全校生徒 951名 保護者全員 951名 教職員 64名
- ・回収率 生徒918名（96.5%）保護者872名（91.7%）教職員64名（100%）

(3) 評価結果の概要

- ・生徒の92%が入学して良かったと感じ、保護者の97%が満足感を得ている。
- ・アンケートの回収率は、生徒918名（96.5%）保護者872名（91.7%）教職員64名（100%）であった。本校への関心は非常に高く、三者（生徒・保護者・教職員）から評価されていると受け止めている。
- ・保護者、生徒、教員とも「全体的に教育内容」を高く評価しており、保護者、生徒の学校への信頼が非常に高いことがうかがえる。

(4) 評価結果の自由意見の総括

【生徒】

①学校経営・学校生活全般（104件）

1 良い点

- 自由でのびのびした校風、教科担当・担任のサポートが行き届いている
- グループワークや幅広い科目履修など、授業内容に満足している声
- 図書館・自習室など学習環境を評価する声
- 前後期制（年4回テスト）が好評
- 生徒の自主性が尊重されているという実感

2 主な改善要望

A. 環境・設備面

- ・冷房・空調:効が悪い／効かない教室や自習室があるため強化してほしい
- ・自習室:開放時間を延長、照明(LED ランプ)の不具合修理、埃・清掃の徹底
- ・トイレ:清掃が行き届かない、詰まり・悪臭、洗面台の故障場所の修理
- ・給水機・冷水機:故障している箇所の早期修理、利用時間延長
- ・購買・自販機:品揃え(ドデカミン復活・アイス類・お菓子など)拡充、設置場所の追加、利用可能時間延長、価格見直し
- ・体育館:床が滑る、天井のギシギシ音による安全性不安
- ・校内施設:外階段のタイル剥がれ、更衣室のゴミブリヤ砂・清掃不良、シャワーの水温不安定
- ・休み時間:2 限-3 限間の5分休憩を 10 分に延長してほしい

B. 運用・制度面

- ・授業編成:夏休み明けテストが期末と重なる負担感、長期休み後のテスト数の見直し
- ・土日の自習室開放・部活動利用の冷房運用、放課後のコンビニ利用緩和
- ・服装規定:セーター登校禁止などの緩和検討
- ・三年間クラス替えしないことへの賛否
- ・制服廃止論／私服導入の要望
- ・進路情報発信:ウェブサイト上での「グランドデザイン」等の具体情報提示強化

C. 安全・セキュリティ

- ・正門の警備体制強化要望、敷地内に不審者・外国人が来る事例への不安
- ・体育館など老朽化箇所の安全点検

②学習指導・進路指導 (73 件)

1 良い点

- － 教師の熱意・丁寧な解説、質問への迅速かつ親身な対応
- － 二者面談や定期的な進路指導集会が充実し、個別サポートが手厚い
- － 小テストや課題の頻度によって学習習慣が身につく、レベルの高い内容を学んでいる
- － 自主学习支援コンテンツ(大波塾など)が多く、意欲向上につながっている

2 主な改善要望

A. 進路指導・情報提供

- ・卒業生の体験談や多様な大学(海外トップ大含む)の話聞く機会を増やしてほしい
- ・一人ひとりの志望や興味に合わせた幅広い進路選択肢(専門職大・芸術系など)にも目配りを
- ・「東大・京大至上主義」からの脱却、偏差値だけでなく適性重視のガイダンスを
- ・進路指導時間の拡充や1年次からの面談機会を増やしてほしい

B. 授業内容・カリキュラム

- ・文理分けや科目選択(化学／物理、本格的な理系科目、社会系科目履修など)をより早期・柔軟に行ってほしい
- ・理科・数学の課題量が多すぎる、習熟度や生徒の進度に応じた課題設定にしてほしい
- ・授業間の質の差(担当教員による進度・難度のばらつき)が大きい→テキスト・資料を共有して平準化を
- ・試験範囲の提示、小テスト以外のノート提出タイミング見直しなど、学習計画を立てやすくしてほしい

- ・学内講習会の季節拡大(秋期・冬期の講習実施、有料講習の導入検討)

C. 授業運営・評価

- ・授業評価アンケートを定期的に行い、担当教員ごとのフィードバックを反映してほしい
- ・話し合い活動のテーマ・進め方の改善、形骸化を防ぐ仕組みづくり
- ・模試の任意受験化(高3駿台ベネッセなど)や受験時期の見直し

③生活指導・学校行事・部活動 (104 件)

1 良い点

- － 生徒主体で進める学校行事(星陵祭、体育祭、合唱祭など)を「楽しい」「一体感がある」と高く評価
- － 部活動の活気や顧問教員の熱意、先輩との交流を良しとしている声
- － 行事や部活動を通じた「人間形成」「達成感」「協調性の醸成」に意義を感じている

2 主な改善要望

A. 制服・身だしなみ規則の見直し

- ・登下校時にセーター／カーディガンを着たいのに禁止されている理由が不明確、荷物がかさむ／体温調整が難しい
- ・校外活動時の正装義務を緩和する、色指定を廃止あるいは緩和してほしい
- ・生活指導部からの説明が抽象的なので、「なぜ」「どのように守るべきか」を具体的に示してほしい

B. 学校行事の運営・日程・ルール

- ・星陵祭実行委員が劇を見られない／後夜祭時間に後片づけをする矛盾を解消してほしい
- ・合唱祭の映像配信(後日 DVD 化含む)で、参加者も非参加者も楽しめるようにしてほしい
- ・星陵祭と期末試験時期の重複解消、練習時間の上限設定(睡眠時間・勉強時間の確保)を
- ・体育祭のテント設置、援団運営の見直し(ダンス部への負担集中の是正)

C. 部活動運営・施設整備

- ・部室設備の不備(鏡の老朽化、サッカーゴールの放置など)を改修／新調してほしい
- ・陸上部の校庭使用許可や合宿日数の緩和(2泊3日→3泊4日以上)を
- ・第一・第三・第五土曜の部活設定見直し／日曜活動の負担軽減を
- ・コミュニティ不足(幽霊部員、情報共有不足)を解消する仕組みを

D. 校則の透明性・合理性

- ・禁止事項(長期休業中の部活着登校、細かい服装規則等)の根拠を明示し、納得できる説明を
- ・伝統を重んじるだけでなく、時代に合わせたルール変更を検討してほしい

④グローバル事業・防災教育・読書指導・その他 (61 件)

1 良い点

- SSH(スーパーサイエンススクール)やグローバル事業など、日比谷ならではの探究・国際プログラムに満足している声
- 図書館・図書室の充実度(蔵書量、展示、通信、ポップの工夫)が高く評価されている
- 総合学習の多様性や教養指導、読書指導など知的好奇心を満たす取り組みへの好印象

2 主な改善要望

A. 情報発信・周知・広報

- ・SSH／GE-NET20／グローバル委員会など各プロジェクトの活動内容や成果をもっと生徒全体に周知してほしい

- ・グローバル事業だけでなく他の特色ある活動も、掲示板や配布物で紹介を強化してほしい
- ・卒業生や上級生の体験談、パワポスキル講座などノウハウ共有も求められる

B. 図書館・読書環境

- ・さらに蔵書を拡充してほしい、特に読書指導を活性化して多くの生徒に利用してほしい
- ・図書室利用時の防音対策、給水機の衛生面配慮(水筒対応給水機の導入)

C. 自習室・講習開放

- ・土曜講習のある日にも自習室を開放してほしい
- ・8・9 限や放課後の探究活動が多く、時間が不足しがちなので、利用時間やスペースを確保してほしい

D. 防災・安全対策

- ・避難訓練をもっと厳格に、放送機器なしでの想定訓練を取り入れてほしい
- ・正門までの通学路が暗いので街灯設置を
- ・地震時のヘルメット配備有無の周知や、防災訓練の実効力向上を

E. プログラム構成の多様化

- ・理数探究基礎の分科会をさらに細分化し、文系理系志向に合わせた選択肢を増やしてほしい
- ・グローバルプログラムの社会系企画(歴史・文化など)を増やしてほしい
- ・プログラム参加のハードルを下げ、参加しやすい雰囲気づくりを

【保護者】

①学校経営・学校生活全般 (169 件)

1 良い点

- 生徒の「自主自律」を重んじる校風、規律正しく伸び伸びとした学校生活に満足
- 教員の熱意ある指導や面談、クラス運営への信頼感
- 授業・行事・部活動がバランスよく充実し、生徒が「楽しそうに」「生き生きと」学校に通っている
- 情報発信(学校だより・学年だより・ホームページ・Classi)など、保護者への連絡体制も評価

2 主な改善要望

A. 学習負担・時間管理

- ・課題量や部活・行事で睡眠時間が犠牲になる／授業中に眠そうな生徒がいる
→課題の適正化、休息確保を

- ・自習室の利用時間延長(20 時まで)、土曜も開放してほしい
- ・昼食時間・連休代休の取り方見直しで心身休養の機会を整備

B. 制服・服装規定の柔軟化

- ・夏服としてニットベストやポロシャツの導入を検討
- ・登下校のカーディガン・セーター着用禁止の理由開示または緩和
- ・制服の素材・快適性改善(スラックス・乾燥肌対策など)

C. 校内環境・安全

- ・教室・校舎の空調整備(エアコン不調、温度調節、10 月・5 月も稼働を)
- ・トイレ・洗面台など水回りの清掃徹底、給水機の衛生対策(水筒対応)

- ・正門まわりのセキュリティ強化、防犯灯の設置、避難訓練の実効性向上
- ・校庭の水はけ／草刈り、部室・体育器具の安全点検
- D. 情報共有・広報
 - ・Classi や各種連絡メールの件名・既読応答の改善
 - ・進路情報等をもう少し早めに・具体的に共有してほしい
 - ・学校ホームページ・行事レポートの更新頻度・写真掲載を増やしてほしい
 - ・保護者会での対話／質疑応答の時間拡大
- E. 給食・購買
 - ・パン・ドリンク以外の食事(お弁当業者の導入や学食)の検討を
 - ・売店の文具・日用品品揃え充実

②学習指導・進路指導 (181 件)

1 良い点

- ー 進路指導・学習指導の質
 - ・1 年次から進路意識を高める面談や大学見学会、三者面談があり、生徒が主体的に目標設定できている
 - ・講習(夏期・土曜)や小テストで学習習慣が身につく、授業がわかりやすく面白いとの声
 - ・塾が不要なほど高品質な授業体制(特に英語・数学)
- ー 教員の熱意・個々を見守る姿勢
 - ・個別面談や放課後の質問対応、大波塾等によるきめ細かなフォロー
 - ・生徒の自主性を尊重しつつ適度な距離感で支援する指導方針に信頼

2 主な改善要望

- A. 進路ガイダンス・情報共有
 - ・学校主催の大学見学会(国立重点大学など)を早期・定期的に実施してほしい
 - ・保護者向けに模試・進路情報を早めに共有、マイページ等で成績一覧閲覧を可能に
 - ・三者面談の回数増加(秋期追加)や保護者会での質疑応答時間の拡大
- B. 教科指導の平準化
 - ・科目担当教師ごとの指導差(進度や解説の質)をなくす仕組み化(事前すり合わせ、授業評価アンケートの活用など)
 - ・物理・化学の進度やカリキュラム配置(理系二科目を2年で学ぶなど)の適正化
 - ・模試や定期テストとの連動、試験範囲の明示
- C. 課題量・時間的余裕
 - ・課題の量が多く睡眠時間や受動的学習につながっている → 科目間で調整しつつ必要十分な量に
 - ・自習室の開放延長(土曜・夏季など)や放課後延長で学習時間を確保
- D. IT・配布物のデジタル化
 - ・Classi／マイページの活用強化、連絡メールタイトル改善
 - ・配布資料のデジタル一元管理(提出物一覧閲覧機能等)
- E. 校内環境・安全対策
 - ・エアコンの安定稼働、教室ごとの温度ムラ解消
 - ・トイレ・水回り清掃強化、防犯灯設置・不審者対策

③生活指導・学校行事・部活動 (209 件)

1 良い点

- ・三人行事(星陵祭・合唱祭・体育祭)をはじめとする学校行事を「生徒主体で企画・運営し、一体感や達成感を得られる貴重な経験」「青春の思い出」「成長機会」として非常に高く評価
- ・部活動で「先輩後輩や外部指導者との交流」「責任感・協調性の育成」「人格形成につながる」「競技力だけでなく人間性を高める」など多面的成長を実感
- ・教員や OB・外部コーチが「暖かく見守りつつ適切なアドバイスをくれる」「生徒を信頼して任せる姿勢」が生徒の自主性を伸ばしている

2 主な改善要望

- A. 写真・映像記録の運用
 - ・星陵祭など行事の「全面撮影禁止」を見直し、保護者のみ自クラス分は撮影可とする／生徒・保護者の公式撮影班を組織化して公開するなど思い出を残す仕組みを
- B. 行事内容の多様化・運営見直し
 - ・星陵祭が「全クラス演劇一辺倒」で多様性に欠けるので、飲食・展示・ゲーム等の企画枠を設ける
 - ・演劇の審査方法(減点指導／表現規制)が過度なので、自由表現の場を尊重／第三者専門家の審査を
 - ・星陵祭前の生徒見学日設定や本番前々日の準備日割り当てで他クラスとの鑑賞機会を増やす
 - ・修学旅行行先(京都奈良)を見直し、オーバーツーリズム回避や異なる体験先を検討
- C. 部活動支援・安全管理

- ・顧問教員・外部コーチの関与不足部活があり、対話や相談窓口の整備、生徒の安全管理・トレーナー導入を
- ・競技場・校庭使用許可や合宿日数の緩和(水泳プール秋期閉鎖の再検討、陸上部の校庭アクセス)
- ・活動場所の空調整備(土日もエアコン運転、人員配置)
- ・器材や練習スペース不足(軽音部の楽器、練習シフト)など設備増設
- D. 校則・身だしなみの柔軟化
- ・学ラン・詰襟なしでニット・カーディガンなど体温調整用上着を許可し、快適性を向上
- ・制服規定の合理性や根拠を示しつつ、季節対応・パーカー導入を検討

④グローバル事業・防災教育・読書指導・その他 (108 件)

1 良い点

- グローバル事業(GE-NET20・SSH 含む)が生徒の視野を広げ、刺激的な体験の場になっている
- 国内外の大学や研究所訪問、著名人講演、ワークショップ参加など実践的学びの機会が豊富
- 図書館・図書室の蔵書量・展示・「図書館だより」の書評などが充実し、生徒の読書意欲を高めている
- 司書の丁寧な新刊紹介やポップ、保護者向け情報発信も好評

2 主な改善要望

A. 参加機会・情報周知の拡大

- ・「優秀者のみ」の仕組みを見直し、基礎レベルでも参加できるメニューを設けてほしい
- ・プログラム参加条件・選考基準・費用負担(特に海外研修の高額さ)を明確化、補助策を検討
- ・全プログラムの年間概要・募集時期を保護者・生徒に積極的に周知／ホームページ更新を強化

B. 時間的余裕確保

- ・部活や行事、課題との兼ね合いでグローバル事業や図書館利用の時間が取れない生徒が多い
- ・図書室開放時間延長(昼休み・放課後・長期休暇)やオンライン授業・遠隔参加の併用を

C. 防災教育・安全対策

- ・防災訓練の実効性向上(情報提供、不審者侵入対策、帰宅後の受け入れ基準等の明示)

D. 図書館・トイレなど施設清掃

- ・トイレの臭い・清掃頻度、図書館の清潔維持にも改善の余地あり

評価結果・考察

① 学校経営・学校生活全般

・「日比谷高校に入学してよかったと思う」については、生徒の92%(1ポイント増)、保護者の97%(1ポイント増)、教職員の79%(6ポイント増)が肯定的回答をしている。生徒・保護者は90%を超えているので肯定割合は非常に高い。教職員の回答の、「わからない」が15%(7ポイント増)である。教職員面接等を通じて、状況を確認していく。

・「教職員は生徒からの相談に適切に対応していると思う」については、生徒の肯定的な回答は90%(1ポイント減少)、保護者は85%(6ポイント減少)。教職員96%(11ポイント増加)。三者とも85%を超えるので、相談体制は適切に実施されていると考えている。

・「学校はいじめ防止対策に組織的に取り組んでいると思う」については、肯定的な回答が、生徒68%(2ポイント増加)、保護者54%(4ポイント増加)教職員85%(1ポイント減少)であった。昨年度と同様に、保護者の43%(5ポイント減少)、生徒の17%(7ポイント減少)が「わからない」と回答している。昨年度よりは減少しているが、いじめ防止対策問題は非常に重要なので、学校の取組みを生徒・保護者に理解してもらう努力を更に続ける必要がある。

・自由記述では、学校生活、学習、学校行事への要望が第一に挙げられた。今年度も、地球温暖化の影響もあり、特に空調の早期使用への要望が強く挙げられた。例年同様に、施設(自習室)と購買(品数)に関する要望も多数寄せられた。

② 学習指導・進路指導

・学習指導の「生徒の個性を伸ばし進路希望実現に結びつくような学習指導が行われていると思う」については、生徒88%(5ポイント増加)、保護者81%(昨年同様)、教職員の87%(9ポイント増加)であった。三者とも80%を超えた。本校の様々な取り組みが一定程度評価されたものと考えている。さらに、生徒・保護者から一層の信頼を得られるように授業改善に努め、学習指導の向上に励んでいく。

・日比谷高校の学習指導で評価できる項目については、生徒と教職員は「45分7時間授業」。保護者は「英語・数学の習熟度別授業」を高く評価している。昨年一昨年と同様、生徒は、「2 年まで共通履修」、保護者は、「3 学年の選択科目」、教職員は、「シラバス」の評価が最も低い。教科主任会等を通じて、分析・検討することが求められている。

・進路指導の「学校は生徒や保護者が必要としている進路情報を十分に提供していると思う」については、肯定的な回答が、生徒89%(2ポイント増加)、保護者85%(3ポイント増加)、教職員82%(1ポイント増加)と三者とも80%を超えているので、本校の進路指導への評価は高いと受け止めている。

・自由記述では、学習指導の項目にて、保護者からは、「高校生になって、学校の授業が楽しい」と初めて感じたと言っていました。小・中学校は、学び合い活動も授業発表も「いかに核心をつかず外層で伝えるか」を意識しないと怒られたので苦しかった。しかし、今は誰もそれをしていない。活発な意見交

換を聞いているだけで楽しいし、自分には無かった考えが生まれることが一番楽しい。」と言っていました。進路指導の項目にては、生徒からは、「自分の担任以外がどんな指導をしているか分かりませんが、自分の担任は面談でも個々の進路に寄り添い、サポートしてくれるので、とても良いと思っています。また、始業式や終業式での進路部の話もためになります。」等、令和7年度卒業生や保護者からは、感謝の声が多かった。昨年同様に、授業や講習、進路指導、三者面談に関しては、評価して頂ける声が数多くみられた。この声が示すように、例年以上の進学実績を残せたと受け止めている。また、例年同様に、東大、医学部医学科、京大、一橋大、東京科学大、以外の進路情報及び下位層の生徒に対する学習指導・進路指導の充実を求める意見も多かった。

③ 生活指導・学校行事・部活動

・「生活指導の方針が明確で、それに基づいた指導が行われていると思う」への回答は、生徒82% (3ポイント増加)、保護者60% (15ポイント減少)、教職員66% (20ポイント増加)と、生徒からは、評価を得ている。一方、分らないという回答が、保護者38% (17ポイント増加)にあるので、保護者等で周知説明する必要がある。

・日比谷高校の生活指導で評価できる項目は、「生徒の自主性や自律性を育てる指導」の外は、三者ともに半数を超えない厳しい回答結果となった。(昨年度同様)全ての項目で早急の対応を図ることが急務であると考え。

・「学校行事は生徒の個性を伸ばし豊かな人間性を育てていると思う」については、今年度も昨年に続いて従来通り、体育大会、合唱祭、星陵祭を実施した。この結果、肯定的な回答が、生徒92% (5ポイント増加)、保護者96% (1ポイント増加)、教職員95% (5ポイント増加)であった。肯定割合は、三者とも90%を超えるので高く評価されていると考える。

・「部活動は教員の適切な指導の下で生徒の自発的・自治的な活動が展開されていると思う」については、生徒88% (3ポイント増加)、保護者85% (1ポイント増加)、教職員76% (11ポイント増加)と肯定的な評価である。生徒・保護者とも貴重な時間であると受け止め、高評価につながったと考えている。

・自由記述では、例年提出されている意見である、生活指導を「もっと厳しい指導を求める」と「生徒の自主性を重んじた指導を」との意見が寄せられることが少なかった。また、例年同様に「校舎内の清掃の徹底を求める」との意見も多かった。

・部活動については、生徒・保護者・教員の三者がともに貴重な時間を過ごせたとの理解を示したコメントが多かった。しかし、今年度も顧問の部活動に対しての関わり方の違いに、不満を持っている生徒、保護者が一部に見受けられた。

④ グローバル事業 (SSH・GE-NET20)・防災教育・読書指導・その他

・「スーパー・サイエンス・ハイスクール (SSH) の取り組みは生徒の知的探究心の向上に役立っていると思う」については、肯定的な回答が、生徒72% (6ポイント増加)、保護者79% (4ポイント増加)、教職員69% (4ポイント減少)と三者とも65%を超え、ほぼ肯定的な評価である。本評価結果に基づいて、SSH の取り組みは生徒の知的探究心の向上に役立っていると考え。

・「東京 GE-NET20 の取り組みは生徒の知的探究心の向上に役立っていると思う」については、肯定的な評価は、生徒75% (11ポイント増加)、保護者75% (10ポイント増加)、教職員89% (7ポイント増加)であった。三者とも75%を超え、肯定的な評価である。本評価結果に基づいて、東京 GE-NET20 SSH の取り組みも、SSH同様に、生徒の知的探究心の向上に役立っていると考えている。

・「防災訓練、防災講話などを通して自分と他人の命を守る態度の育成を図っていると思う (防災教育)」については、肯定的な回答は、生徒81% (4ポイント増加)、保護者65% (2ポイント増加)、教職員85% (2ポイント増加)であった。防災教育は、自分や家族、地域と関わりのある人の命を守る悉皆訓練の場でもある。生徒、教職員は肯定的な回答が80%を超えた。保護者には、実施内容や方法を丁寧に説明する必要がある。

⑤ 学習時間・塾や予備校に関して (生徒のみ)

・学習時間は、学年の進行に伴って増えている。

3年:3時間以上は83% (昨年72%、一昨年76%)

2年:3時間以上は24% (昨年29%、一昨年26%)

1時間～3時間は75% (昨年61%、一昨年60%)

1年:2時間未満は60% (昨年63%、一昨年60%)

2時間～2時間は40% (昨年44%、一昨年35%)

・通常時に塾や予備校に通っていない生徒の割合は、

3年:19% (昨年21%、一昨年20%)

2年:41% (昨年28%、一昨年32%)

1年:64% (昨年59%、一昨年57%)

⑥ ライフ・ワーク・バランス (保護者・教職員のみ)

・「教職員は、自ら計画的・効率的に仕事を進め、ライフ・ワーク・バランスの実現を図っているか」については、肯定的な回答は、あまりにも少なすぎる。保護者53% (2ポイント減少)、教職員30% (4ポイント増加)である。より良い教育の実現のためにも、教職員のライフ・ワーク・バランスの改善が急務である。

⑦ その他

・自由意見は、1,061件 (昨年度1,266件、一昨年度966件)であった。総件数は、昨年度に比べて205件減少した。記載量は、昨年度と同等であった

・自由意見については、学習指導・進路指導、生活指導・学校行事・部活動等、様々なご指摘はあったが、建設的な意見が多かった。生徒、保護者の学校に対する期待と重く受け止めている。

IV 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校評価を含む）

（１）学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

・進学指導重点校、東京 GE-NET20 の指定校及びスーパー・サイエンス・ハイスクールとしての具体的な取組や日常の教育活動について、保護者や地域及び学校関係者からの理解を一定程度深めることができたとして受け止めている。特に理数探究基礎・理数探究を含めた探究活動及び研究とグローバルリーダーの育成に関して、教育改革に伴う学習活動の開発・改善の取組を理解いただいた。

（２）学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

・進学指導重点校、東京 GE-NET20 の指定校及びスーパー・サイエンス・ハイスクールとしての特色を伸長するために、組織的、計画的に授業の改善や教育活動の改善をさらに図り、生徒・保護者・都民の期待に応える。特にグローバル社会のなかで真にリーダーとなる人材育成について、さらなる課題をいただいた。

V 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

（１）学校運営

・企画調整会議及び教科主任会議を充実させて、学校改革を組織的に推進する。
・主任を中心に、学校経営計画に基づく各分掌のマネジメントサイクルを整備する。

（２）学習指導

・教科チームとして授業内容・授業進度・定期考査問題の共通化の精度をより一層高め、集団の学びと個の学びのバランスを構築し、日比谷の教科マネジメントを確立する。

（３）特別活動

・行事準備時間と部活動時間との割り振りを適切に行い、効果的・効率的な運営を行い、部活動の適正実施により、学習や行事との両立を図り、質の高い学校行事・部活動を実現する。

（４）生活指導

・規律正しい学校生活をおくることにより、規範意識をさらに高め、服装や身だしなみにも注意して、学校行事・部活動と学習との両立を図る。

（５）進路指導

・実力テストや外部模試に基づく組織的な面談や相談、生徒や保護者への計画的な進路情報の提供を通して進路指導を行うとともに進路指導室を有効に活用する。
・進学指導検討会等で、生徒の成績データベースを基に具体的な指導内容や指導計画を検討する等、学校全体の組織的な指導により、生徒の進路希望を実現する。

（６）健康・安全

・スクールカウンセラーを活用し、生徒の心のケアなど、教育相談機能の充実を図る。
・関係機関と連携して、避難訓練・避難所設営・防災講話などの防災教育活動の充実を図る。

VI 「学校がよくなった」と考える協議委員の割合

（１）協議委員人数 9 人

（２）学校がよくなったと答えた外部委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
3	4	0	0	0	0	2

（３）協議委員の評価アンケート・コメント

・以前にも申し上げたが、テーマが広すぎて、深い議論ができていない状況。従って、年一回は、テーマを絞って深い議論が出来るようにしたらどうか。
・期待が大きいのにに対して、多忙な状況にも拘わらず、かなり十分な対応をしている。学校運営には、大きな評価をすることができる。
・引き続き一層の発展を祈っております。
・先生方、協議委員の皆様、お忙しい中せっかく集まっておられますので、1 時間 30 分の中で実質的に議論をして何らかの気づきが得られるように、各分掌のテーマを網羅的に扱うのではなく、一つ二つの分野を絞ってもよいかなと感じました。とは言え、個人的には、より深く学校のことを知る機会となり、得難い経験をさせていただきました。AIでみんなが楽できるとよいですね。ありがとうございました。
・先生方が熱心に指導し、生徒たちも個性豊かに育っているように思われます。
・改善の努力と成果がうかがえることに、心強いものがある。生徒たちの向上心と姿勢、これを支える保護者の熱意に大いに期待。校長をはじめ教職員の方々の努力に敬意を表したい。

Ⅶ 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

- ・開催形態は、対面式である。職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加の機会は、設けなかったが、学校運営連絡協議会で出た意見は、分掌会にて検討し、改善事項を企画調整会議に挙げていく方式をとった。